

# Ⅲ 丸の内都庁舎



第一本庁舎の落成式祝賀会 安井誠一郎都知事(中央)と丹下健三  
(請求番号:東京都広報写真-8284 昭和32年2月)

戦後新たに地方自治体として出発した東京都の庁舎復興は、都議会議事堂の再建から始まります(昭和25年(1950)10月竣工)。

昭和28年(1953)3月には、第2期工事として丹下健三の設計による第一本庁舎が着工、昭和32年(1957)2月に落成式が行われました。

ついで昭和37年4月第二本庁舎が完成します。

しかし事務増大に伴い庁舎は狭くなる一方で、庁舎の分散による弊害や、戦前に建設された建物の老朽化が問題となります。そのため昭和40年代には、審議会が設置され、都庁舎の立地やあり方をめぐる議論が始まりました。

昭和50年(1975)1月に第三本庁舎が完成しますが、昭和60年に都庁舎の新宿移転が決定、平成3年(1991)3月に丸の内都庁舎の閉庁式が行われました。

このコーナーでは、丸の内都庁舎のすがたをたどっていきましょう。